

資料1 (結果分析)

調査結果の分析について

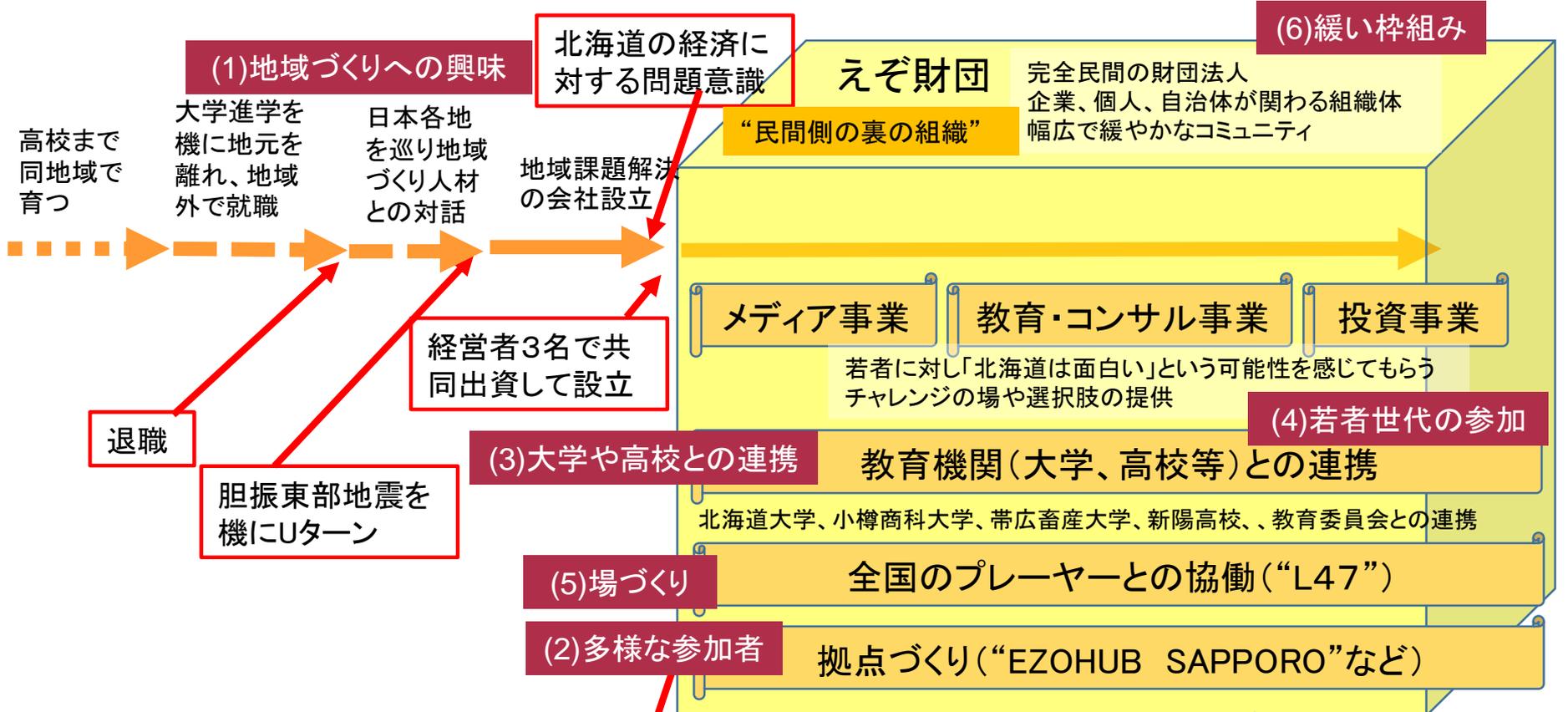
調査結果(令和6年1月31日:第2回研究会)について、今回インタビューを受けていただいた方々の、地域づくりへの興味・関心の実践手法から、以下のとおり類型化

- 1 新たな団体・組織を立ち上げることを通じて(創設型)
- 2 既存の枠組みから派生、あるいは継承を通じて(派生・継承型)
- 3 既存の団体・組織への加入を通じて(加入型)
- 4 行政等が設けた人材育成機会への参加を通じて(学習・実践型)

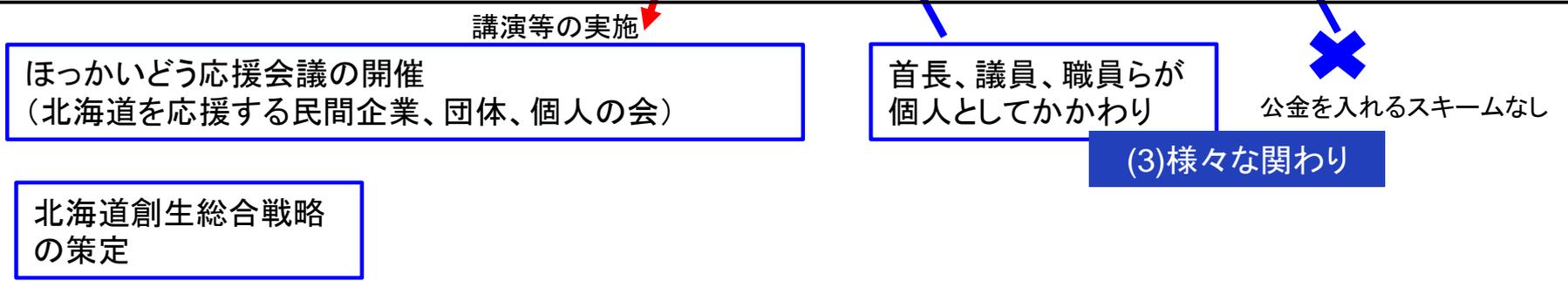
	類型	該当事例
1	創設型	えぞ財団(北海道)、きたもと暮らしの編集室(北本市)、瀬戸内ワークス株式会社(三豊市)
2	派生・継承型	合同会社Michilab(多摩市若者会議)(多摩市)、NPO法人neomura(世田谷区)、一般社団法人多摩区ソーシャルデザインセンター(川崎市)、一般社団法人さぬき市津田地区まちづくり協議会(さぬき市)
3	加入型	一般社団法人丹波篠山キャピタル(丹波篠山市)、九州大学まちづくりサークルiTOP(糸島市)、こゆ地域づくり推進機構(新富町)
4	学習・実践型	東北公益文科大学大学院(鶴岡市・酒田市)、こうちみませ楽舎(高知市)、よこらぼ(横瀬町)

【創設型】えぞ財団（北海道）

キー・プレイヤーと関係する団体活動



行政・地域



【創設型】合同会社暮らしの編集室（北本市）

キー・プレイヤーと関係する団体活動

全国の事例を多く見る機会
北本市への危機感

近隣市出身

フリーで活動
市内各地で
マーケット事業等

シェアキッチンの設置

合同会社暮らしの編集室

暮らし側から考え、地域愛を醸成するという事業に一本筋を通す

(5)場づくり

(2)多様な参加者

(4)若者世代の参加

「マーケットの学校」企画運営業務

シティプロモーション業務

ふるさと納税を核とした
地域活性化業務

若い子達の活動が面白い

イベント参加者の
つながり
北本市の魅力の
再発見
関係人口の創出

(1)地域づくりへの興味

北本駅西口改修事業の議論の手伝い

同地域で生まれ育つ
中学の同級生

観光協会
(NPO法人に改組)に就職

町場と関係づくり
役所と話し合い

コロナをきっかけに
日常的な関わりを
つくりたいとの思い

透明性の確保が課題、
地域住民との連携の重要性

(1)創設時の関わり

(2)運営の関わり

H19 北本市中心市街地活性化事業
埼玉県NEXT商店街プロジェクト事業

H25～ 共同事業提案制度

芽が出そうなものは事業化して委託

クラウドファンディング活用型
地域活性化事業

市役所職員の地域づくりへの
入り口、行政が地域づくり人材の育成を実施し町場へ供給

行政・地域

エムギャップの活用
(市民の愛着醸成を数値化し評価)
⇒シティプロモーションの推進

やりたい人の邪魔をしない
協力をするという体制、
マインド

(6)緩い枠組み

(3)様々な関わり

行政には政治・異動リスクあり

【創設型】瀬戸内ワークス株式会社（三豊市）

キー・プレイヤーと関係する団体活動

- ① 欲しい未来の共有
- ② チャレンジするものを増やす
- ③ なぜやるかの追求
- ④ 役割分担と仲間づくり
- ⑤ 経営責任の明確化
- ⑥ 課題解決ではなく欲しい日常の追求

(1) 地域づくりへの興味

東京の民間企業に勤務
ホテルの営業や地方自治体の地域プロモーションに従事

地域のほうが豊かで自由という気付き

大企業の行う「地方創生」への疑問、退社(H29)

地域商社を共に立ち上げた人がメンターとなり、共同出資で会社設立

瀬戸内ワークス株式会社 (H31~)
「地域」が主語・主役になる地域づくり

(5) 場づくり

地域の観光・まちづくりに関連する事業

体験型宿泊施設“UDON HOUSE”(H30~)

(4) 若者世代の参加

(2) 多様な参加者

ローカルスタートアップスクール

(別法人) 宿泊施設の運営

(別法人) 地域内の中小企業の人材育成の場づくり

(別法人) 地域交通を考える事業

協働・連携

地元の30,40代の人たちとのつながり

H29 地域商社の立ち上げに携わる

(1) 創設時の関わり

(2) 運営の関わり

行政・地域

父母ヶ浜、紫雲出山を資源に観光業務に注力

H28 地域商社の立ち上げについて相談

H31 関係人口の創出を目的とした「三豊市観光戦略策定業務」の委託

観光業務、人材育成業務で連携

(3) 様々な関わり

市の魅力発信等を通じ、関係人口の創出や移住者の増加につながる

【派生・継承型】合同会社Michilab・多摩市若者会議（多摩市）

キープレイヤーと関係する団体活動

多摩市若者会議の募集を見て応募

(7)外部人材の活用

志同じくする者、外部専門家(地域人材
ネット登録者)との出会い

3年間の事業で終わらせるのは道半ばとの
思いから自走を決断

中学生の頃
から地域に
関心があっ
た。
就職を機に地
域を一度離れ
るも結婚を機
に地域に戻る

合同会社Michilab
まったく想定外の方
向で進んでいるこ
とを実感

多摩市若者会議
(行政設置)

多摩市若者会議(任意設置)の運営受託

(4)若者世代の参加

(1)地域づくりへの興味

高校生の時の地域
のキーマン達との出
会いから地域と関わり
を持ち始める

若者の声を姿勢
に反映するため、
市の直営事業とし
て3年間設置

コミュニティカフェ「Michicafe」を運営

(2)多様な参加者

(5)場づくり

民間企業、UR機構、他地域の若者会議との協働

(3)大学や高校との連携

教育機関(大学、高校)との協働

東京都立大学、恵泉女学園大学、多摩大学付属高校、都立高校との協働

行政・地域

若い世代が「住みたい」と思えるようなまちづくりの一環として若者会議の設置。ファシリテーターとして、外部専門家を活用。

(1)創設時の
関わり

予定どおり直営事業は終了。以降は任意団体である若者会議を委託事業として実施。

(2)運営の関わり

各種事業の委託、地域との協働

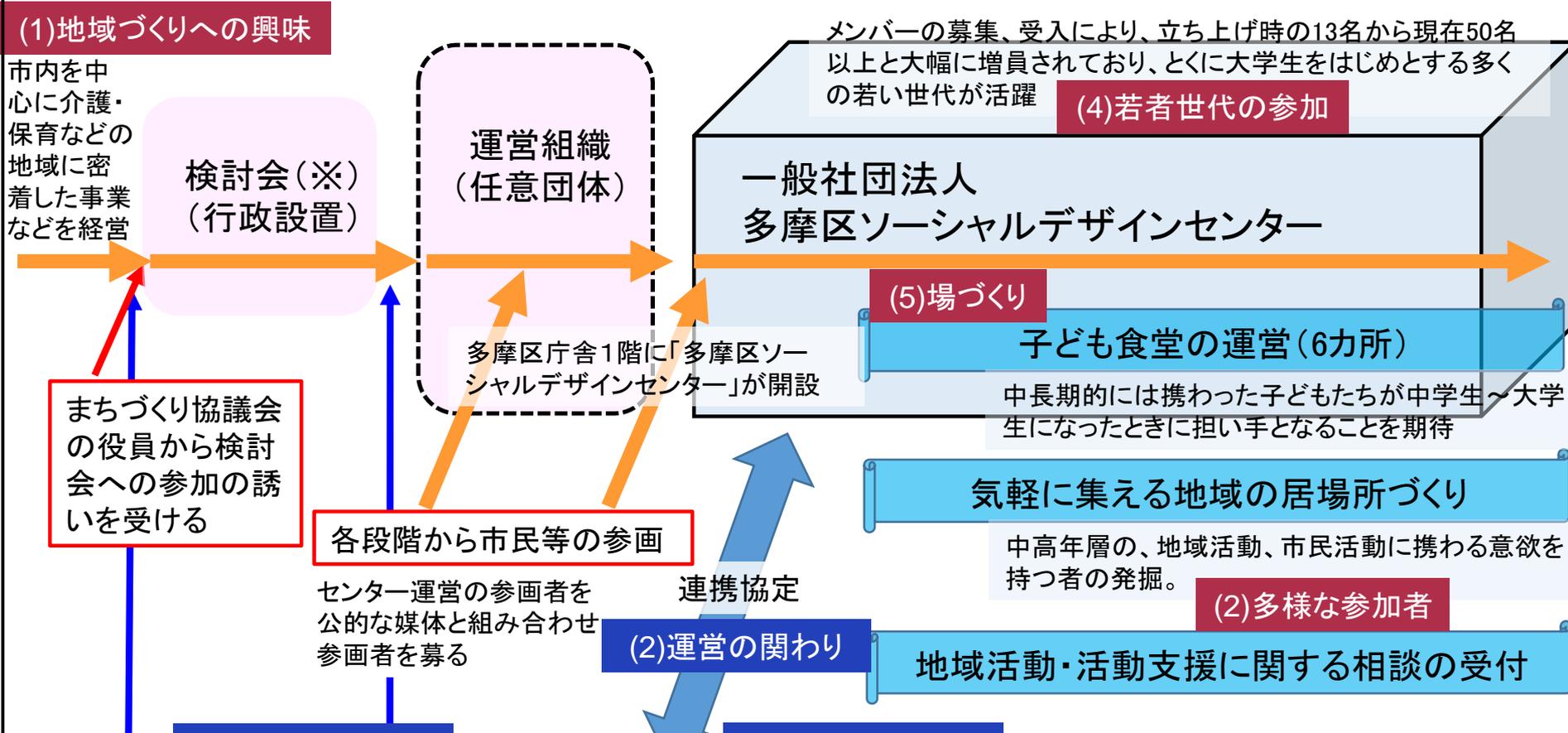
「若い世代の転出による人口減少」に着目し、若い世代が「住みたい」と思えるようなまちづくりを進めていく必要性を認識。

団体がやりたいことができるように温かく見守りサポートしてくれるので、本当に我々のやりやすさにつながっている。

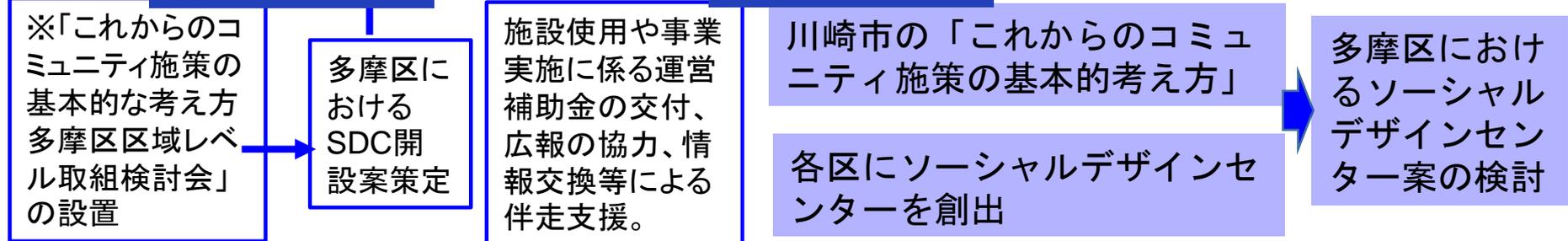
(3)様々な関わり

【派生・継承型】一般社団法人多摩区ソーシャルデザインセンター（川崎市）

キープレイヤーと関係する団体活動



行政・地域



【派生・継承型】 NPO法人neomura (世田谷区)

キー・プレイヤーと関係する団体活動

従来から用賀在住者中心のコミュニティが存在。

地域を盛り上げようと音楽イベントの開催。

せたコンでの音楽イベント主催者との出会い

音楽フェスの発展に併せNPO法人化

(6) 緩い枠組み

やりたい人ができる範囲でやる。無理はしない。皆で分散をしながらできるのかといった仕組み、組織づくり

NPO法人neomura

(3) 大学や高校との連携

(4) 若者世代の誘い込み

用賀サマーフェスティバル(音楽イベント)の開催

せたコン(任意団体)

オンライン地域コミュニティ「チーム用賀」管理

(2) 多様な参加者

(5) 場づくり

(1) 地域づくりへの興味

知り合い無く、仲間捜しのため「せたコン」を設置

実際の対面の場「neobar(ネオバル)」を運営

清掃活動「用賀BLUE HANDS」の開催

他地域

他地域から世田谷区に移住

地域住民に、単に「交流してください。」といっても交流は盛んにはならない。

タマリバタケ(都市農園)の活動

都市部農業の維持および地域の交流の場の創出
関係人口の創出にも寄与

住民同士の交流に農作業「公園を耕させてほしい。」と区に直談判

(1) 創設時の関わり

音楽フェスティバルの開催にあたり協力。

(2) 運営の関わり

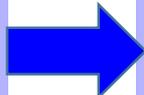
公園を活用することは難しいので、提案型事業として、区所有地を活用して農地運営をしてはどうかと提案。公有地の貸し出し

(3) 様々な関わり

行政・地域

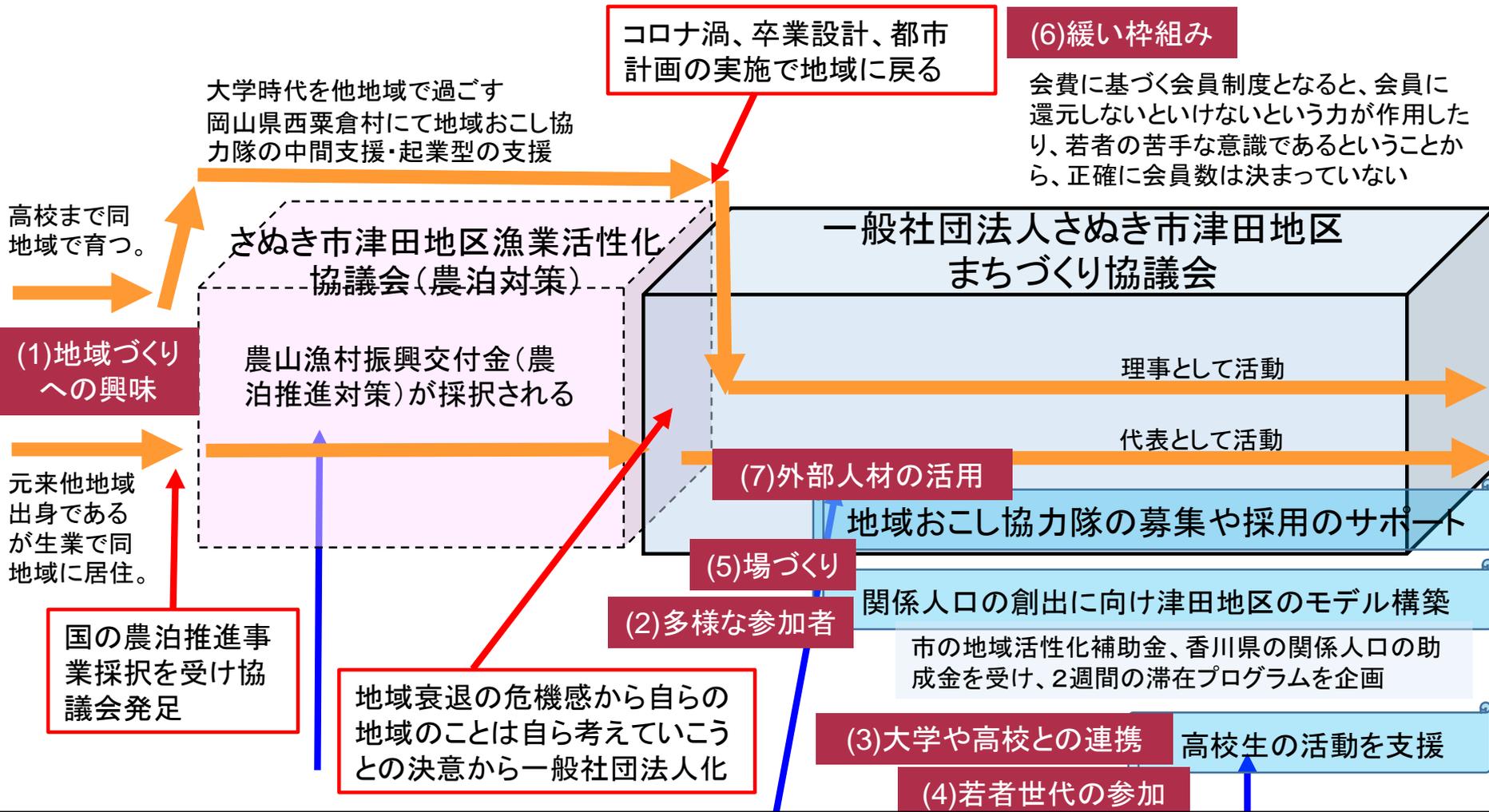
世田谷区が抱える市街地の課題の一つに都市農地の減少

区でも公共用地を有効活用していく観点からも区有地を使った農の利活用を地域で起こしていく

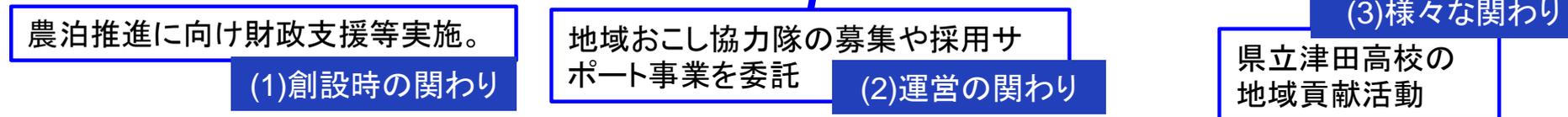


【派生・継承型】一般社団法人さぬき市津田地区まちづくり協議会（さぬき市）

キー・プレイヤーと関係する団体活動



行政・地域



【加入型】一般社団法人こゆ地域づくり推進機構（新富町）

キー・プレイヤーと関係する団体活動

他地域出身。
工場勤務等様々な職歴。

募集を知り応募入団に至る

(1)地域づくりへの興味

自身のスキルを生かせるのではと考え入団。
地縁がないことから地域との接点づくりに苦労。

総務担当者

一般社団法人こゆ地域づくり推進機構 **地域商社**

(7)外部人材の活用

地域活性化起業人を受入れ

新富町観光協会(庁内)

現在の派遣職員は5人目

地域出身。
ホテル勤務等の職歴。

農産物の商品開発(ライチのブランディング等)

(5)拠点・場づくり

こゆ朝市の開催(賑わいの場創出)

(2)多様な参加者

(4)若者世代の参加

事業担当者

様々な公民連携を提案

町の連携協定を促進、公民連携の取組の推進

町職員の親戚に誘われ入団

地域おこし協力隊関連事業(隊員の受入れ)

ふるさと納税事務、
返礼品開発担当。

地元出身であることから、町内生産者と連携を密にふるさと納税の返礼品等の開発に携わっている

ふるさと納税代行事業(納税事務、返礼品開発)

行政・地域

将来にわたる活力ある地域づくりのため、既存の観光協会を発展的に解消し、町が全額出資で設立。

町職員2名派遣。

(1)創設時の関わり

社団の運営も軌道に乗ったことから1名派遣に移行。

(2)運営の関わり

ふるさと納税代行、地域おこし協力隊コーディネート及び募集業務。

町が全額出資するも、運営は財団の自主性に委ねる。

(3)様々な関わり

人口減少を食い止め、将来にわたる活力ある地域づくり

「世界一チャレンジしやすいまち」の推進

【加入型】（糸島市） 九州大学まちづくりサークル iTOP

(3)大学や高校との連携

キー・プレイヤーと関係する団体活動

(1)地域づくりへの興味

高校時代に地域活動に参加

九州大学

九州大学と糸島市で包括連携協定

(4)若者世代の参加

iTOP 地域活性化のサークル活動を実施

卒業後もまちづくり関連に従事する者も多い

NPO法人 ENGAWA PROJECT

中心市街地(前原商店街)の活性化

(5)場づくり

(2)多様な参加者

大学入学に際し入団

(6)緩い枠組み

情報発信事業

市主催への協力

地域への説得、人材の紹介など地域との橋渡し

(2)運営の関わり

市が実施する各種の事業への支援・協力依頼

市の情報が届きづらい学生に対する情報伝達事業の委託。(報酬制)

(3)様々な関わり

行政も地域も、学生の挑戦に対し、ポジティブで、応援してくれる

行政・地域

【加入型】（丹波篠山市） 一般社団法人丹波篠山キャピタル

(3)大学や高校との連携

キー・プレイヤーと関係する団体活動

大学時代の農業実習、ゼミ活動がきっかけ

神戸大学農学部と丹波篠山市とで地域連携協定

代表からの誘い

(1)地域づくりへの興味

神戸大学

(4)若者世代の参加

一般社団法人丹波篠山キャピタル

(8)学びと実践

農業実習
ゼミ活動

(7)外部人材の活用

地域おこし協力隊のコーディネート及び募集

市民で構成される検討委員会に参画

起業・継業のためのローカルビジネススクール運営

(5)場づくり

(2)多様な参加者

行政・地域

各種事業の委託を行う。

(2)運営の関わり

兵庫県等からも事業を受託、また周辺地域とも連携

行政課題を捉えながら法人運営してもらえよう常に情報交換

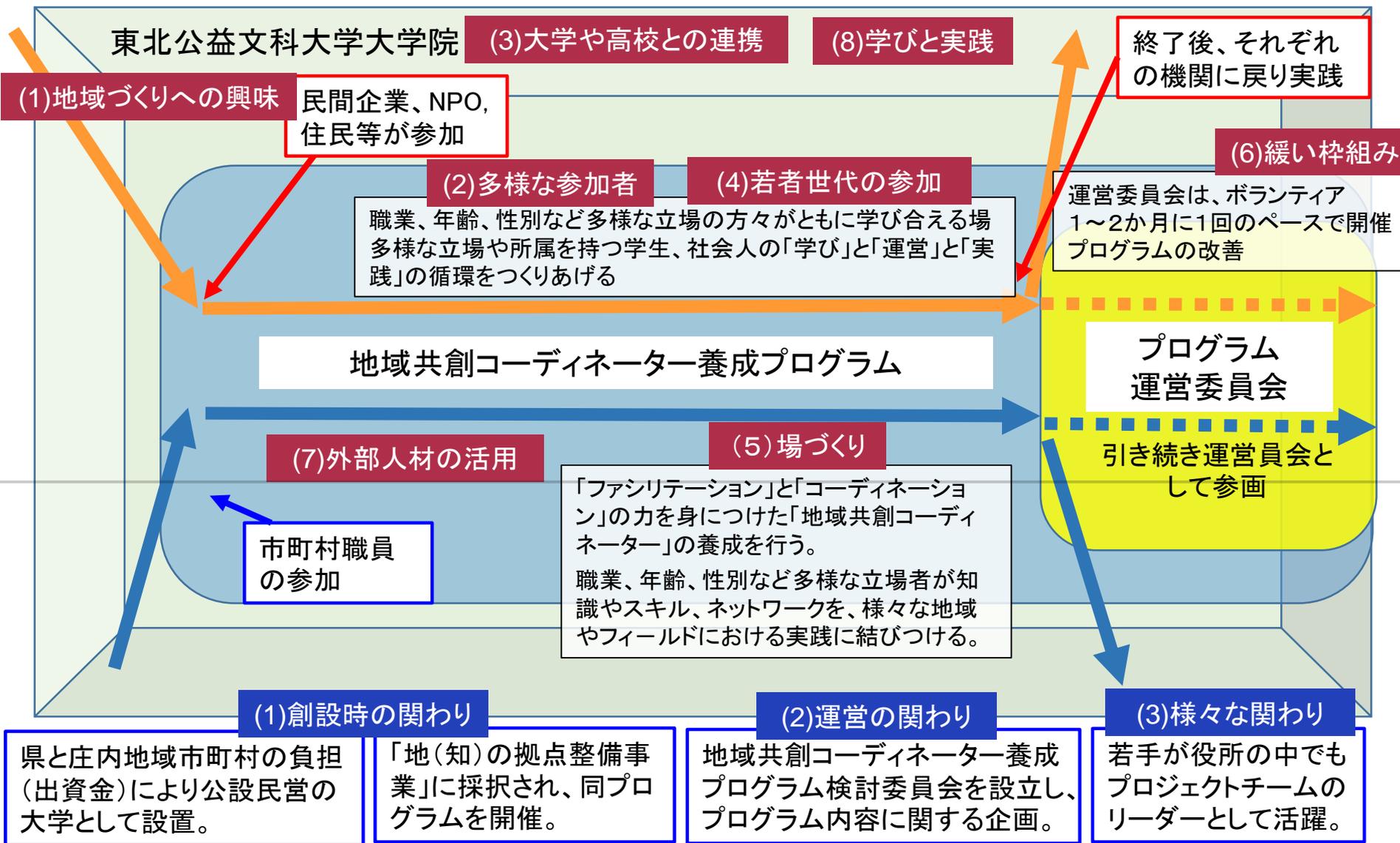
(3)様々な関わり

民間としての機動力をもって事業を展開に期待

【学習・実践型】東北公益文科大学大学院（酒田市・鶴岡市）

地域

行政

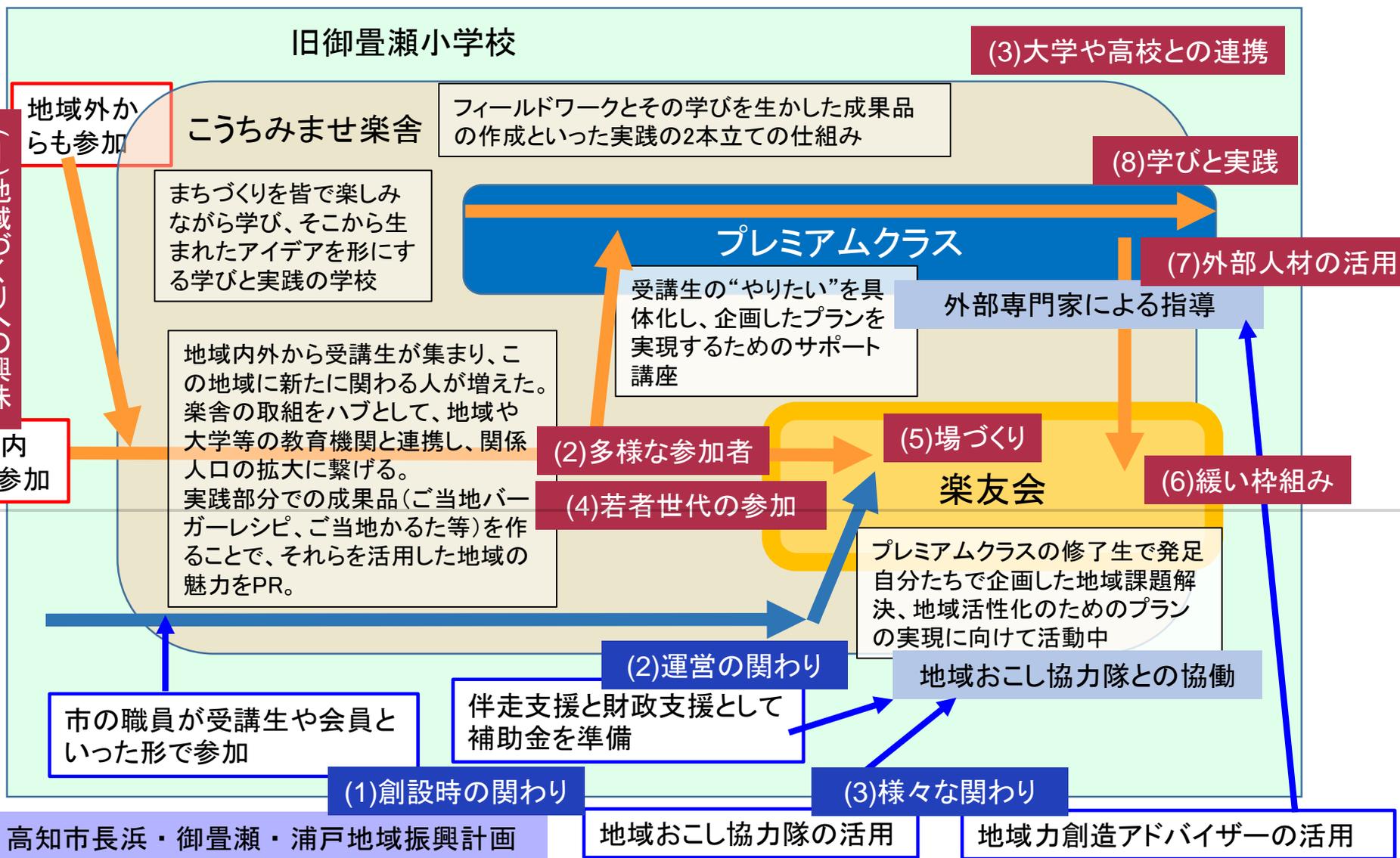


少子高齢化、人口減少が進む庄内地域の課題解決には、多くの人との対話と参画が不可欠。

【学習・実践型】こうちみませ楽舎（高知市）

地域

行政



(3)大学や高校との連携

地域外からも参加

地域内から参加

(1)地域づくりへの興味

こうちみませ楽舎

フィールドワークとその学びを生かした成果品の作成といった実践の2本立ての仕組み

まちづくりを皆で楽しみながら学び、そこから生まれたアイデアを形にする学びと実践の学校

地域内外から受講生が集まり、この地域に新たに关わる人が増えた。楽舎の取組をハブとして、地域や大学等の教育機関と連携し、関係人口の拡大に繋げる。実践部分での成果品(ご当地バーガーレシピ、ご当地かるた等)を作ること、それらを活用した地域の魅力をPR。

プレミアムクラス

受講生の“やりたい”を具体化し、企画したプランを実現するためのサポート講座

外部専門家による指導

(7)外部人材の活用

(2)多様な参加者

(4)若者世代の参加

(5)場づくり

(6)緩い枠組み

楽友会

プレミアムクラスの修了生で発足自分たちで企画した地域課題解決、地域活性化のためのプランの実現に向けて活動中

(2)運営の関わり

地域おこし協力隊との協働

市の職員が受講生や会員といった形で参加

伴走支援と財政支援として補助金を準備

(1)創設時の関わり

(3)様々な関わり

高知市長浜・御畳瀬・浦戸地域振興計画

地域おこし協力隊の活用

地域力創造アドバイザーの活用

「旧御畳瀬小学校の利活用」

旧校舎を活用し「学ぶ」「実践」をキーワードにした地域おこし学校

【学習・実践型】よこらぼ（横瀬町）

地域

行政

